

ふくい街角景気速報

(平成22年6月分)

調査期間 平成22年6月18日～25日 (回答率：95%)

概況

家計動向では消費拡大への期待感から先行き判断DIが上昇したものの、企業動向では製造業で見られた持ち直しの動きが一服していることから、景気の現状、先行きの判断DIはともに頭打ちとなった。

■景気の現状判断DI 50.3 (前月比 ▲0.5)

企業部門を見ると、繊維や電気機械、鉄鋼などの業種で受注量が増加しているとの声が聞かれた。一方、商社や運輸関連業では、取引量が減少しているとの声が多かった。

家計部門を見ると、商店街関係者からは来客数や売上高が減少しているとの回答が多かった。

また、福井や丹南のショッピングセンターの一部では、来客数や客単価が上向いているとの声がある一方、奥越地域のショッピングセンターでは来客数や売上高が減少しているとの声があった。

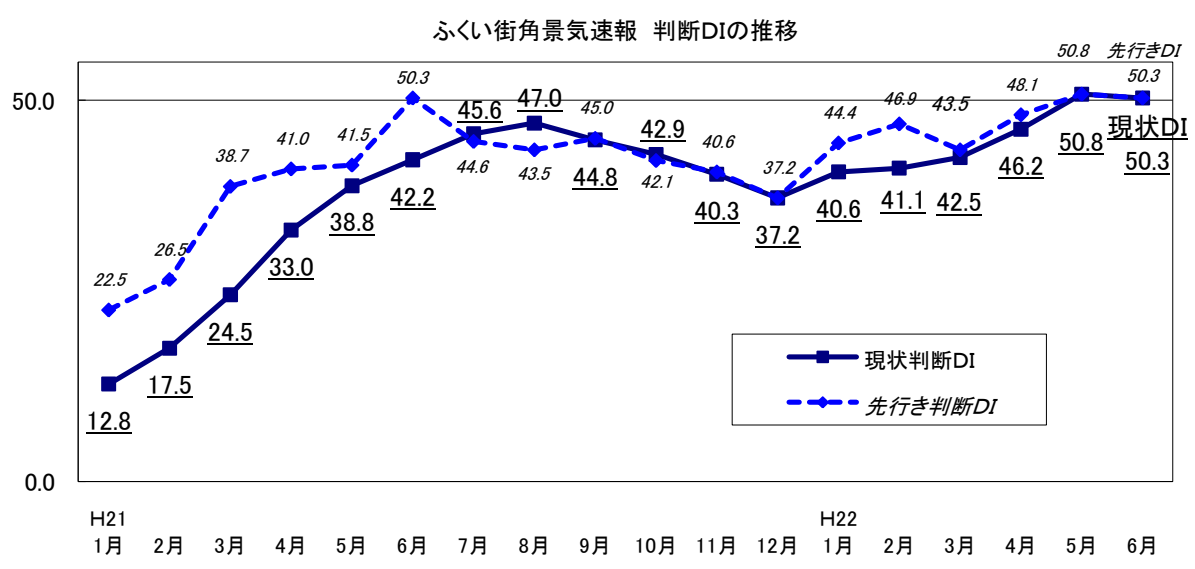
雇用部門を見ると、製造業を中心に大手企業の業績が回復してきているとの声とともに、求人は依然厳しい状況が続いているとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 50.3 (前月比 ▲0.5)

企業部門を見ると、ユーロ圏諸国の財政不安や円高懸念、不安定な国内政治などを背景に、経済情勢の先行きを不安視する企業が多かった。

家計部門を見ると、商店街関係者やショッピングセンターではふるさと商品券の消費拡大を、また、観光関連産業や飲食業では、舞鶴若狭自動車道の無料化による来客数の増加などを期待する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、大手企業の業績回復を受けて、製造業を中心に徐々に雇用情勢が回復に向かうが、幅広い業種での雇用回復には時間がかかるのではないかとの声が聞かれた。



＜目次 調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別家

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	40	22	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	6	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、50.3となり、2ヶ月連続で50を上回った。
回復しているとする回答が3割強あったが、一方、悪化しているとする回答が3割弱あった。

企業部門を見ると、繊維や電気機械、鉄鋼などの業種で受注量が増加しているとの声が聞かれた。一方、商社や運輸関連業では、取引量が減少しているとの声が多かった。

家計部門を見ると、商店街関係者からは来客数や売上高が減少しているとの回答が多かった。

また、福井や丹南のショッピングセンターの一部では、来客数や客単価が上向いているとの声がある一方、奥越地域のショッピングセンターでは来客数や売上高が減少しているとの声があった。

雇用部門を見ると、製造業を中心に大手企業の業績が回復してきているとの声とともに、求人は依然厳しい状況が続いているとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H22 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		40.6	41.1	42.5	46.2	50.8	50.3	▲0.5
家計動向関連		35.9	32.4	36.3	41.0	46.4	45.4	▲1.0
小売		36.7	35.3	38.6	42.7	46.3	48.5	+2.2
飲食		15.0	10.0	15.0	6.3	25.0	16.7	▲8.3
サービス		43.2	33.3	38.5	47.9	54.5	43.8	▲10.7
企業動向関連		46.1	49.3	49.3	51.5	55.3	54.3	▲1.0
製造業		47.0	51.9	50.0	53.1	59.8	55.0	▲4.8
非製造業		42.9	40.6	46.9	47.5	45.0	52.5	+7.5
雇用関連		44.2	53.8	50.0	52.5	56.8	59.1	+2.3

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(6月調査結果)
現状判断DI 47.5

○回答別構成比

	年 月	H22 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		10.8%	13.3%	15.0%	17.6%	30.1%	32.6%	+2.5
変わらない		52.7%	50.0%	50.0%	46.2%	47.3%	40.0%	▲7.3
やや悪くなっている		24.7%	24.5%	25.0%	22.0%	18.3%	23.2%	+4.9
悪くなっている		11.8%	12.2%	10.0%	9.9%	4.3%	4.2%	▲0.1

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、50.3となり、2ヶ月連続で50を上回った。
「変わらない」とする回答が半数を占め、回復傾向とする回答と悪化傾向とする回答がそれぞれ2割強あった。

企業部門を見ると、ユーロ圏諸国の財政不安や円高懸念、不安定な国内政治などを背景に、経済情勢の先行きを不安視する企業が多かった。

家計部門を見ると、商店街関係者やショッピングセンターではふるさと商品券の消費拡大を、また、観光関連産業や飲食業では、舞鶴若狭自動車道の無料化による来客数の増加などを期待する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、大手企業の業績回復を受けて、製造業を中心に徐々に雇用情勢が回復に向かうが、幅広い業種での雇用回復には時間がかかるのではないかとの声が聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H22 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		44.4	46.9	43.5	48.1	50.8	50.3	▲0.5
家計動向関連		41.1	44.6	40.1	56.3	49.0	50.5	+1.5
小売		44.5	46.3	42.1	50.0	48.5	49.3	+0.8
飲食		15.0	30.0	20.0	12.5	25.0	66.7	+41.7
サービス		43.2	45.8	42.3	56.3	59.1	50.0	▲9.1
企業動向関連		49.2	49.3	49.3	47.1	53.0	48.6	▲4.4
製造業		50.0	52.9	51.0	47.9	57.6	52.0	▲5.6
非製造業		46.4	37.5	43.8	45.0	42.5	40.0	▲2.5
雇用関連		44.2	50.0	42.3	50.0	52.3	54.5	+2.2

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(6月調査結果)
先行き判断DI 48.3

○回答別構成比

	年 月	H22 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		2.2%	3.1%	0.0%	3.3%	0.0%	1.1%	+1.1
やや良くなる		8.6%	13.3%	15.0%	17.6%	26.9%	23.2%	▲3.7
変わらない		60.2%	55.1%	52.0%	52.7%	53.8%	53.6%	▲0.2
やや悪くなる		22.6%	25.5%	25.0%	20.9%	15.1%	20.0%	+4.9
悪くなる		6.5%	3.1%	8.0%	5.5%	4.3%	2.1%	▲2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計 動向	福井	小売店	・客数が多くなっているわけではないが、少し客単価が微増している。	
		坂井	小売店	・農繁期のため、農産物の出荷が品目、量とも多く、3ヶ月まえから比べると来客数、売上高も増加している。	
		奥越	小売店	・リフォーム等の販売量が少し増えてきた。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・客数は、前年に比べ減少しているが、客単価は微増。 ・単品買いの傾向が続くなか、気温変化の影響もあり、ブラウス・カットソー中心に売上伸長。特に紫外線対策や冷房対策での羽織りブラウスは好調。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・早期承りギフトセンター売上は日を追うごとに伸長。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・客単価がやや上向いている。	
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	・売上額、買上客数、来館客数、客単価が上昇傾向にある。	
		丹南	スーパー	・客数の対前年比が100%近くに戻ってきている。 ・ふるさと商品券の販売による消費拡大も見込まれる。 ・来店動機は増えてくるが、単価下落は抑えられず特売品および必需品のみの購入が多くなっている。	
		坂井	土産品等販売店	・6月は旅行シーズンのため、やや良くなっているが、前年から見たら微減。 ・購買率は、若干伸び悩んでいるものの、前年と変わらず。	
		嶺南	観光土産店	・7月～9月の団体予約が多少増えてきているが、出発地方面によりバラツキがある。	
		嶺南	ドライブイン	・営業利益が増加している。	
		丹南	クリーニング店	・客数は減っているが、衣替えのため冬物の防水、学生さの制服が少し出ている。	
		嶺南	旅館	・昨年同期に比べれば、少し上向いている。 ・ただし、低価格化や、客の要求の多様化など、経費がかかる場面が多く、総じて言えば変わりなし。	
		坂井	観光・レジャー施設	・客の様子から改善が見受けられる。	
	企業 動向	福井	繊維	・受注が増加している。	
		奥越	繊維	・フルに工場を稼働できる受注状況が続いており、この勢いに安定感が定着しつつある。	
		丹南	眼鏡	・受注状況が改善している。	
		丹南	眼鏡	・購入する時に日本製の良い商品を選ぶようになったと思う。	
		福井	一般機械	・周辺企業の稼働率が上昇している。	
		丹南	電気機械	・当社の受注動向はやや良くなっている。	
		嶺南	電気機械	・国内市場は厳しい状況が続いているが、海外でカバーしている状況。	
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量が増加傾向、また、取引先の様子も改善に向かっている。	
		福井	鉄鋼	・受注が増加している。	
		丹南	鉄鋼	・得意先の受注量が増加している。	
		奥越	食料品製造	・電化製品の売上が大きく伸びているように見える。	
		福井	金融機関	・受注量が増加し売上高が増加傾向にある。	
		福井	運輸	・売上が3ヶ月前との対比では若干ながら回復している。 ・しかし、先月中旬以降回復の足取りが悪く、停滞している。	
		雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・大手企業の業績はある程度回復しているように思える。 ・しかし、求人についてはまだまだ厳しい状況。
	福井		労働相談員	・企業のボーナス支給が前年より上向いている。	
	嶺南		労働相談員	・有効求人倍率や、新規求人倍率において、大きな改善は見られないが、製造業を中心に受注、生産高が増加している。	
	福井		人材派遣会社	・求人状況が改善している。	
	変わらない	家計 動向	嶺南	商店街	・地域の産業、サービス業全体に景気が良くない。 ・今まで良かった観光業も奈良や四国に取られている。
			福井	小売店	・販売量に変化がない。
奥越			小売店	・減少傾向に少し歯止めがかかった様に感じる。	
丹南			小売店	・昨年よりも涼しい日が多いため、ビールの消費も悪いように感じる。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・変化がない。	
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・客数の減少、客単価の微減、また、他社の価格強化により、一品単価もダウン傾向。	
嶺南			百貨店、ショッピングセンター	・販売量の動きに変化がない。	

変わらない	家計 動向	嶺南	スーパー	・客単価が変わらない。
		嶺南	コンビニエンスストア	・変わらず。
		福井	結婚式場	・来客数の動きや競争相手の動向等に変化がない。
		福井	ビジネスホテル	・インターネット予約の売上が上昇し、売上に占める割合も約10ポイント上昇。 ・しかし、その分客単価が減少しているため売上が伸びない。
		福井	ビジネスホテル	・来客人員等は増加傾向にあるものの、低単価志向が中心。
		坂井	旅行代理店	・来客数、売上金額に変化なし。
	企業 動向	坂井	繊維	・取引先企業や業界の様子に変化がない。
		坂井	繊維	・あいかわらず小ロット、多品種である。
		坂井	一般機械	・受注量や受注額など自社の動向および福井県の求人状況などに変化がない。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。
		奥越	電気機械	・受注量は若干伸びているが、伸び率は落ち着いてきた。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量は変わらず、住宅市場は低迷しており、売上が伸びない。
		丹南	伝統工芸	・受注量の動きに変化がない。
		嶺南	医薬品	・健康食品、一般用医薬品の売上低迷から回復傾向なし。 ・求人は、正社員募集については多くの応募があるが、パート募集については正社員に比べ劣る状況。
		福井	IT関連	・受注量に動きがない。
		坂井	IT関連	・ハローワーク等からの求人件数にあまり変化がない。
		福井	金融機関	・一部業種では設備投資の動きが見られるが、大きな流れを生み出すものではない。
		坂井	建設業	・同業者、下請け業者ともに受注が停滞。
		嶺南	建設業	・公共の発注業務は前月に比べ数が増えてきたが、受注獲得競争が激しく、また価格競争も激しいため厳しい。
		福井	不動産	・斡旋業務などの扱いは昨年同月より増加したが、価格動向や、新規の見込み客の動きに関しては減少、手控え傾向が見える。
		嶺南	運輸	・GW来客数が減少。 ・宮崎で発生した口蹄疫の問題により、多種にわたり輸送量が減少している。
		雇用	奥越	自治体労働政策担当課
	奥越		学校就職担当者	・新規卒業者の求人に対する事業所説明会も昨年度と比べると参加企業も減少したと聞いており、求人については依然厳しい。
	嶺南		学校就職担当者	・新内閣誕生が間がないため、変化がない。
	福井		ジョブカフェ担当者	・大手製造業を中心に仕事量の回復傾向が見られるが、流通サービス関係の景気回復感の実感はない。
	嶺南		ジョブカフェ担当者	・求人数など大きな変化もなく、求職者は就職活動に苦戦している。
	福井		就職情報誌	・依然求人数が少ない傾向にある。 ・形態もアルバイトやパートが8～9割を占めている。
嶺南	就職情報誌		・周辺企業の様子に変化が見られない。	
やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	・売上高、客数等いずれも減少傾向。
		奥越	商店街	・客数が減少している。
		嶺南	商店街	・より安いものを選ぶお客の消費性向を反映して、チラシなど広告による客の移動等による客数減、売上が減少している。
		丹南	小売店	・来客数が減少、客単価が下落している。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・来客数や人口が減少している。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・売上、客数ともマイナスが続いている。
		福井	スーパー	・客数は回復しつつあるが、一人当たり購入点数・購入額は減少傾向にあり、いま必要なものだけを求められる傾向が続いている。
		坂井	スーパー	・来店客数はほぼ横ばいながらも、客単価は依然減少傾向にある。
		丹南	スーパー	・失職者数の増加が懸念材料。
		福井	大型小売店	・来店客数、売上高ともに対前年比減少し、競争も厳しくなっている。
		嶺南	大型小売店	・販売単価が下落し、利益が減少している。
		福井	自動車整備	・ガソリン価格の高騰などが原因で、土建業や運送業が厳しい現状である。 ・自動車ディーラーからの修理依頼が減っている。
		福井	クリーニング店	・知人の話では、去年から残業が全くない状況が続いている。 ・くつつクリーニングで減っている。

やや悪くなっている	家計 動向	坂井	旅館	・昨年より客数、宿泊単価が落ちている。
		福井	旅行代理店	・インフルエンザで動きが悪かった昨年と比べても、大きな伸びはなく一部悪くなっている。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・郵政民営化の廃止で数万人の公務員が増えるが、特殊法人の見直しを進めていることと整合性がとれない。 ・政治家、公務員の給料を見直し、一般の雇用機会を増やすべき努力をすべき。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きや。取引先の様子から判断して。
		丹南	伝統工芸	・組合からの供給品が減少傾向にある。
		嶺南	商社	・末端小売業の荷動きが悪い。
		福井	商社	・個人向けガソリンは急激に販売実績が悪化。 ・建設や運輸用等の軽油も販売量減少。
		丹南	食料品製造	・客数および客単価が前年比で減少している。
		福井	運輸	・荷動きが悪い。
		悪くなっている	家計 動向	福井
福井	割烹			・客数が少ない。 ・土、日だけでも来客数に期待していたのだが、6月は土、日のどちらかのみで普段より暇な時がたびたびある。
嶺南	レストラン			・来客数は減少、客単価は横ばい、販売量は減少している。
福井	タクシー			・客数が減少している。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計動向	嶺南	コンビニエンスストア	・夏期シーズンの到来により、人の動きが出るため、期待したい。
やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	・13日から「ふるさと商品券」が発売となり、その効果に期待したい。
		丹南	小売店	・お中元の時期になるため、例月よりも良くなることを期待している。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・価格よりも質を求める傾向へと、消費者動向に変化が見受けられる。
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	・13日から、さかい市プレミアム商品券が販売された。昨年も春と秋のプレミアム商品券販売後は、客数、ご奉仕高共にアップしているため、期待したい。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	・ふくいふるさと商品券の発行や、こども手当での支給、ボーナス時期等の要因により、以前よりはお金を使える状況になってきている。 ・首相が変わったことにより、しばらくは期待感が不安感を上回る状況でもあり、先述したお金を使える状況との相乗効果に期待したい。
		嶺南	観光物産店	・首相が変わり経済対策に期待がもてる。
		嶺南	ドライブイン	・高速道路無料化も始まり、夏の休暇を楽しむ家族連れ等の来客が見込まれる。
		福井	割烹	・6月下旬の舞鶴道の無料に期待したい。
		嶺南	レストラン	・6月下旬の舞鶴道の無料化で、週末の来客数が多少上向くと考えられる。
		坂井	旅館	・こども手当での支給や新内閣の発足などを期待している。
		嶺南	旅館	・希望的観測による。
		坂井	観光・レジャー施設	・新しい政策に期待している。
		坂井	旅行代理店	・単月では良い月も見受けられるようになった。
	福井	繊維	・底は終わったように思える。 ・動きが出てきている。	
	奥越	繊維	・ギリシャの財政危機に起因するヨーロッパ経済の状況やユーロ安などの悪影響が懸念されるが、高機能商品や産業資材関係の動きが堅調であり、ファッション品についても価格一辺倒から脱却する動きも見られ、受注の堅調な動きに期待している。	
	嶺南	電気機械	・為替、原材料値上がり等は懸念材料だが、海外頼みの状況に変化はない。	
	福井	鉄鋼	・周辺の企業予測が明るい。	
	奥越	食料品製造	・都市部で良くなっているように見える。	
	福井	金融機関	・受注量の増加等により売上が増加傾向にある。 ・しかし、ユーロ圏の業況が回復しておらず増加傾向が続くとは考えにくい。	
	雇用動向	福井	労働相談員	・子供手当などの支給で消費が上向くと思われる。
嶺南		労働相談員	・大手企業の業績が回復してきており、徐々に回復してくると思うが、業種全般までは時間がかかると考える。	
変わらない	家計動向	福井	商店街	・選挙が終わるまでわからない。
		福井	小売店	・政治と円相場の見通しが不透明である。
		坂井	小売店	・良くも悪くもなる要素が見当たらない。
		丹南	小売店	・客は低価格志向にあり、今後とも続く様子である。
		奥越	小売店	・季節物が動くため、暑くなることを期待する。
		奥越	小売店	・消費を控える状況が改善されない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・先月までの3ヶ月間は物産展好調も貢献し順調に推移したが、今月から今までの勢いが弱くなっており、今後も一進一退と予測する。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・先行きが不透明であり、しばらくはこの状態が続くと思う。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・変化する要素がない。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	・良くなる要素がない。 ・比較的大きな落ち込みがなかった「100円ショップ」の売上が低迷している。 ・客数減少が大きい。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・マイナスが続いているが、せめて現状維持を願う。
		丹南	スーパー	・景気対策も一時的なものであり、現時点では将来の見通しに明るい展望は見えない。 ・政治に対する不信感も大きい。
		福井	大型小売店	・前年から開始されたエコポイントによる反動減は当面解消される見込みなし。
		坂井	土産品等販売店	・観光業は、政治・経済の状況に左右されやすい。 ・今後の政治・経済の状況が不透明であり、現状とさほど変わらない。

変わらない	家計 動向	福井	自動車整備	・世間では「こども手当」が支給されたが、一部の人が潤うだけで、この不景気に何ら良い影響を与えとは思えない。
		福井	クリーニング店	・良くなる理由が思いつかない。
		福井	ビジネスホテル	・固定客は減少している。 ・スポーツ団体客および台湾の旅行社の送客数の増加により、固定客の減少分や客単価の低下分をカバーしている。
		福井	ビジネスホテル	・来客人員等増加傾向にあるものの、低単価志向が中心とした動向が続くと思われる。
	企業 動向	坂井	繊維	・円高が厳しい。
		坂井	繊維	・デフレの傾向が続いている。
		丹南	眼鏡	・市場の動きがまだ良くない。
		丹南	眼鏡	・横ばい状態がつづくと思う。
		福井	一般機械	・全体的に景気が回復するような土壌ではない。
		福井	一般機械	・先行きの見通しが不透明である。
		丹南	電気機械	・当社の受注動向に変化がない。
		福井	化学・プラスチック	・急激な回復は見込めず、下期の動向が読めない。
		嶺南	化学・プラスチック	・良くなることを期待しているが、効果的な経済対策を実行できないため、実際には悪くなると思う。
		福井	化学・プラスチック	・住宅市場の回復には半年から1年以上かかると見込んでいる。
		丹南	伝統工芸	・消費者の動きに変化がない。
		嶺南	商社	・良くなる要素がない。
		丹南	食料品製造	・地方では、中小企業の動向が景気を左右すると思うが、周辺企業から良い話は聞かない。
		嶺南	医薬品	・政治の混迷もあり、当面、消費拡大に結びつくような景気回復は見込めない。
		福井	IT関連	・受注量に変化がない。
		坂井	IT関連	・雇用状況が大きく改善するとは思えない。
	福井	金融機関	・目新しい材料がない。	
	坂井	建設業	・不透明感が漂っており、政局が安定しない。	
	雇用 動向	奥越	自治体労働政策担当課	・大野市は430年祭を実施しており、観光客は前年同月比1.5倍と伸びているものの、観光消費額は、それほど伸びていないのが現状。 ・大野商工会議所がプレミアム商品券の販売を実施したため、効果を期待したい。
		丹南	自治体労働政策担当課	・大手企業の業績は海外に依存していると思われる。 ・今後はどうなるのか不透明。
		奥越	学校就職担当者	・政局も不安定で、先行き不透明。
		嶺南	学校就職担当者	・新内閣誕生から間がないため、変化が見受けられない。
		福井	ジョブカフェ担当者	・大手企業からの中小企業への発注、賞与時期を迎えてのふるさと商品券事業の浸透効果等が今後期待されるが、現時点ではあくまで期待である。 ・少し良くなってきても一過性の可能性もあり、先行き楽観視はできない。
嶺南		ジョブカフェ担当者	・巷では、景気が良くなるといった話題は、ほとんどなく、この先もあまり変化はないのではないかと。	
福井		人材派遣会社	・単発的な求人など、先行き不透明感がある。 ・一部の業種のみ多少仕事が増えている。	
嶺南		就職情報誌	・変わると思われる要素が見当たらない。	
やや悪くなる		家計 動向	嶺南	商店街
	福井		小売店	・地方の産業の景況感は依然悪い。 ・今後の状況は、参議院選挙の結果に左右される。
	福井		百貨店、ショッピングセンター	・高額品にお金を使うというムードが感じられない。 ・6月はボーナス払いが始まるため、従来では需要の高い高額品が、今年は低調。
	福井		スーパー	・良くなる兆しが見当たらない。
	坂井		スーパー	・雇用環境の改善も見えず、当面現在の状況が続くものとする。
	嶺南		スーパー	・原油価格が高騰傾向にある。
	嶺南		大型小売店	・購入される方々のさいふのひもがとてもシビアであり、+αがなく、必要なものだけの購入で止まってしまう。
	丹南		クリーニング店	・夏物は家で洗うため、この季節はあまり動かない。
	福井	旅行代理店	・選挙、APEC等大きなイベントがあると動きが悪くなる。	
	企業 動向	丹南	眼鏡	・15年以上も低金利政策が続いている。 ・銀行や生命保険、証券会社を助ける前に毎年3万人以上の自殺者が12年以上も続いていることに、国家挙げて取り組むべき。
		奥越	電気機械	・国内の経済状況は、株安、円高などで低調にシフトする恐れがある。 ・中国市場の索引が続くか次第である。

やや悪くなる	企業 動向	丹南	伝統工芸	・例年夏期は減少する。
		福井	商社	・県内の燃料消費が最悪の伸びになるのではないかと懸念している。 ・今後脱燃料、バイオボイラー、LNG等燃転が進む。 ・原油価格の乱高下が激しく、不透明な状況にあり、思ったより価格下がらない。
		嶺南	建設業	・政局が不安定であり、消費税増税などの不安材料が多く、先行き不安は増すばかりである。 ・このような状況の中では、民間需要が拡大する要素はないに等しく、現状の回復は難しく長期低迷すると予想する。
		福井	不動産	・新規の住宅着工戸数や、価格、労働賃金の実質低下が見込まれる。
		福井	運輸	・先月中旬以降売上が伸び悩み停滞している。 ・今後この状態が続くのか、更に悪化するのか判断が難しい。
		福井	運輸	・選挙があるため、若干悪くなる。
		嶺南	運輸	・高速道路の無料化により現状より悪化が予想される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)